

第5期会員交流会（11月）開催報告

11月12日(月)、化学材料グループの第5期第16回会員交流会をパナソニックOBPビルにおいて開催しました。今回より参加いただく新規メンバーを含め、17名の会員が集まり、謝リーダー弁理士のもと、主に「中国など、東南アジアにおける先使用权」について議論が交わされました。テーマである「中国の先使用权」の他、「著作権登録の必要性」、「パラメーター特許」、「タイムスタンプ」についてなど、参加者の実体験に基づいた例を中心に議論が進められました。

化学材料グループ単体としては今期最終となる次回は、平成31年1月21日(月)に同所にて、今期を締め括る自由討論を行う予定です。

11月26日(月)には、同じくパナソニックOBPビルにおいて電気機械グループの第17回会員交流会が開催されました。今回は「今後の知財と技術～第4次産業革命にどう対応していくか～」をテーマに、板谷リーダー弁理士のもと、主にAI技術の進歩について討論されました。AIが人間に代わって仕事をする時代、AIによる発明が可能となる未来が実現した場合、今後の知財の価値はどのように変動していくのか。議論を重ねる中で、「類似技術を超える発想力は、人間にしか持ちえないのでは」というご意見や「TRIZ(トリーズ)の発明原理」が話題に上がりました。

電気機械グループ単体としても次回が今期最終となり、平成31年1月24日(木)、同所にて「よろずお悩み相談」という形で自由討論を行う予定です。

※会員交流会に参加ご希望の方は当協会事務局までご連絡をお願いします。

TEL 06-6479-1926(企画サービスG直通) members@jiiiosaka.jp

